2016年9月号
こころと文化
PSYCHE & CULTURE

巻頭言
グローバル・メンタル・ヘルスの時代? 北中淳子
128

特集
理論生成における臨床家のゴール、研究者のゴールとは
特集にあたって
鶴川晃
131

第1部 理論生成における臨床家のゴール、研究者のゴールとは
座談会「理論生成における臨床家のゴール、研究者のゴールとは」
133

第2部 臨床観察と理論生成
精神医学における理念型の役割
古茶大樹
144

摂食障害の発症、經過と治療における「本人の関与」
西園美智子
151

「臨床実践と理論生成の今」
——「ひきこもり」の臨床実践と、理論生成を通して
古橋忠晃
157

第3部 現象理解と理論生成
精神科薬物療法と自己
——「脳と自己の分離」の検討
樋原克哉
163

越境する文化と身体記憶
——ベトナム系住民女性の出産のナラティブから
鶴川晃, 野田文隆
169

書評
東照開人著
『野の医者は笑う——心の治療とは何か?』
山本和義
178

山之内虔子著
『あきらめない映画——山形国際ドキュメンタリー映画祭の日々』
野田文隆
179

増田ユリヤ著
『揺れる移民大国フランス——難民政策と欧州の未来』
鶴川晃
180

学会ニュース
第20回多文化間精神保健専門アドバイザー資格認定研修会のお知らせ
第23回多文化間精神医学学会総会及び年次学術講演会のご案内
第24回多文化間精神医学学会総会及び年次学術講演会のご案内

■投稿規定・執筆要領
■編集後記

多文化間精神医学会